

# 青少年問題を考える

1. 児童相談所の窓口から
2. 青少年とマスコミ
3. 長洲町の子供会
4. 青年学級について

しばしば耳にする青少年の犯罪は、私たちの心を暗くします。そしてこの暗い傾向はなかなか弱まりそうにもない有様です。

青少年を蝕むものは何か——その要因についてはいろいろあげられているが、本号では特に環境問題を中心に考えてみることにしました。

或は又、継母や継父の生きぬくの親子の人間関係がまずかつたり、でなくとも、生活におわれ或はよるめいている片親家庭で、こどものことは全く心を配つてくれなかつたり、いずれもこどもは親の情愛に満ち足りることができないいづれ

例えは熊本の新聞を大きく賑わした忍び込み常習の小学校のこどもの場合にしても、父と母の折合が悪く、一時は別居いるなどゴタゴタのしづくめで面白くない家庭環境であつたし、窃盗行脚していたこどもは、母親が夜の勤めで味気ない佻しい夜の家庭生活に外を遊び廻るくせがついてのことであつた。

原因はどこにある？  
盗みや傷害、家出浮浪、無賃乗車或は不純な男女交遊などで発見されたこどもについて、警察などからの通告が、毎年六万件前後この児童相談所にきている。これらの中には、ホンの好奇心から注ぎされてきたこと、はやく発見され注意されたため、再びそのようなことをしでかすこともなくなっているものもあるが、大部分の場合は、その原因に深く根ざすことがあつて、それが解決されない限り、こどもの問題は真には解決されないのである。

原因はどこにある？

## 1 児童相談所の窓口から



親が自己一身の身すぎ世すぎに、懸命になり、我が子を邪魔に思つたり、預けてのがれることに心を奪われたりでは、こどもは世の中の誰を、何を、信じ心を

なさを何らかによつて紛らわしたい状態で生じたものである。いいかえれば、親の情愛をもつと欲しくてかしたことが、不幸にして反社会的な行動であつたということである。大人達であれば満足されない慾求不満は酒で紛らわすこともできるだろうし、その他にもいろいろ合法的、合理的に気を紛らわす方法もあるだろう。しかしこどもには金もなければそんな心得や才覚も乏しいとすれば、つまるところは家の金品を持出すなり、他から盗むなりして面白めをみるか、暴発して憂いを晴らすか、でなければ全くいじけてしまふか、何らかの問題を生ずることに不思議はないだろう。

大人はもつと考えよう  
にもかかわらず、こどもの心情について、親や大人達が深く顧慮し自から改めるべきところを十分心がけることを怠つてゐるのではないだろうか。  
こどもも幼少の微かな間は、権力づくでも非行を抑止することもできるだろう。しかし犯罪青少年が必ずしも一日にしてできるものではなく、かつて乳児であり、幼児であつたときに問題の種子が植付けられてきていることも考え合せなければならぬだろう。

安んじていることができるだろう。  
先ず信ずることを、そして信じられることが如何に大切な、尊い、そして愉しいことであるかを経験体得することが一番必要なことではなからうか。  
それには何といつても、先ず親が、そしてその他の大人達も、こどもから万幅の信頼をよせられるものでなければならぬ。これが次代を背負うこどもを健全に育成し、こどもをしあわせにまもる最良のものであらう。

現在、和歌山県、福岡県、長崎県など十一道府県に「青少年保護育成条例」という条例が制定されている。この条例は、県によつて多少内容の相異はあるが、有害興行等の観覧の禁止、有害図書販売等の禁止について過半数の府県が規定を設けている。これの意味するものは、青少年に有害な映画や図書などとは、青少年に観覧させること販売、頒布することなどを禁止して、これらの有害な映画、図書が青少年の目に触れることをなくし、それから受ける悪影響を防



## 2 青少年とマスコミ

現在、和歌山県、福岡県、長崎県など十一道府県に「青少年保護育成条例」という条例が制定されている。この条例は、県によつて多少内容の相異はあるが、有害興行等の観覧の禁止、有害図書販売等の禁止について過半数の府県が規定を設けている。これの意味するものは、青少年に有害な映画や図書などとは、青少年に観覧させること販売、頒布することなどを禁止して、これらの有害な映画、図書が青少年の目に触れることをなくし、それから受ける悪影響を防

菊池郡西合志村にある肥後学園は、県下で唯一の精薄児施設。

現在、100名近くの児童が坂本園長のもとに手をとりあつて学業や生活補導に励んでいる。



クヌギ林の近くにある静かな学園



元氣な園児たち



職業訓練も学科の1/10  
学園は分校になつていて先生の指導も熱心だ



食事の時はお行儀がよくおとなしい。



一番うれしい時、それは親たちとの面会の日！

みんなの楽しみ、レクリエーションのひととき

